

異文化体験が自分を変える。

文化言語学部文化言語学科長

モンタナ大学への留学

〔留学で花開く将来〕

【州立のモンタナ大学】
町として知られています。



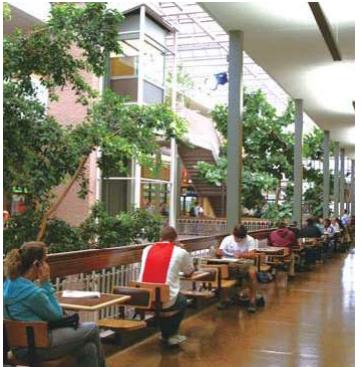
モンタナ大学のキャンパス風景

尚絅大学

新しい語学留学制度(六ヶ月)を来夏より実施します。これまでにはコミュニケーション・コースの二年生のみが対象でしたが、今後は尙絅大学の二年次以上の在学生なら誰でも参加できます。取得した単位は、本学の単位に読み替えられます。休学することなく卒業できます(学年やコースにより必須授業と重なり卒業が延びる場合もあります)。卒業生の参加も考えていました。

〔留学計画〕

尚絅大学の留学生は、七月下旬に渡米、夏語学研修特別コース三週間を経て、秋学期（八月下旬～十二月中旬）の正規の能力別英語クラスに出席。成績上位者は一般学生の授業にクラスに出席。希望者にはホームステイも組み入れ可能。ボランティアの会話パートナーが生活や会話のサポートをしてくれます。参加費用は約百萬円（為替変動あり。夏の特別コースのみの参加も検討中）。米国内の小旅行代金（約十五万円）が別途必要。小旅行先として、シアトルと、氷河またはエイローストーン国立公園と、ロスアンジェルスが候補地です。ぜひ参加してください。



モンタナ大学の学生ホール風景(光の庭)

〔留学の成果〕

異なる環境の中で生活してみてこそ、日本文化や日本語の本質が再認識できます。また、自



「後輩へのアドバイス」と今後の抱負。
できるだけ多くの体験をされる事をお勧めします。私は、病院での経験で、回ഴ子手術、ボランティア活動をしてきました。このボランティア活動は、アート系、そして日本に魅力的な大学へ出向いたことです。人々が今の私をつくれる、という感じです。周りの人々にいつも助けられました。五年後、十人の自分の歩みを想像して、将来のことを描きながら、自分の歩みを想像して、生きることを勧めています。私も、これからもそういう生き方を続けて行きたいと思います。

留学により、英語力の向上はもちろんのこと、世界に目が開け、あなたの将来の可能性が大きく高まります。留学で培った英語力を生かし、国際舞台で活躍している先輩が大勢います。来春から日本航空の国際線で活躍される四年生の徳富さんへのインタビュー記事が、次のページに出ています。ぜひお読みください。

【ロッキー山麓のミズーラ市】

熊本原と姉妹関係にあるモンタナ州は、アメリカ北西部に位置しカナダに国境を接しています。州立のモンタナ大学があるミズーラ市（人口約七万五千人）は、ロッキー山脈に抱かれた小さな町です。町から車で北西部へ一時間も進めば、氷河を頂く林立した峰が迫ってきますが、大学町ミズーラは四方を緩やかな丘陵に囲まれ、極めて清潔安全で洗練されており、図書館・美術館など文教的な環境がよく整い、国際空港もあります。道行く人のほとんどは白人です。昔は金銀を産出しましたが、今は大学と企業が中心です。町の中心部は、大学に隣接し、徒歩や自転車で十分行動できます。夏は涼風の中で釣・カヌー、冬はスキーやスケートなど、四季を通じて光明媚な大自然の中でスポーツが楽し

り、緑豊かでゆったりしており、落ち着いて勉学に集中できます。多様な学部・学科が揃い、教職員も多く、学生数は約一万四千人。尚綱大学の学生は、世界の約九十カ国から集つ約五百人の中で、国際色豊かな生活を楽しむことがあります。

学内には、マンスフィールド図書館（著名な駐日米大使にちなんで）・大学センター（書店・売店・食堂・映画館・娯楽施設等が揃う）・現代的スポーツ施設、スタジアム、学生寮などの施設が完備し、留学生活を送るには申し分ありません。



モンタナ大学の売店(書籍)風景